

# 令和 2 年度事業報告書 — みくにの森クリニック —

テーマ：自立した生活が送れるように、より良いチームケアの提供と地域支援体制の強化を図る

サブテーマ：各事業所・チームとの連携を図り、安心・安全な医療を提供する

## 1. 利用者の健康管理

- ① 医務室、多職種から情報収集・確認を行い、異常の早期発見・対応に繋ぐことができた。
- ② 発熱や肺炎症状があるとコロナウイルス感染が疑われ、受診や入院の返答に時間を要した。また、希望の病院に断られることもあった。退院時には担当看護師がカンファレンスに参加、退院時サマリーを事前に受け取り、状態を把握することができた。

## 2. 利用者・家族から信頼されるクリニックを目指す

- ① 入所時には家族へ十分な説明を行い、意向を確認した。
- ② 体調不良時や検査結果異常時には、必要に応じ病状や治療方針等、利用者・家族の思いを尊重した説明を行い意向の確認を行うことができた。また、1月20日に1名の職員が、新型コロナウイルス感染陽性者と報告を受けた時には、法人全体で保健所のPCR検査や調査に協力・感染対策を徹底し、終息の2月19日までの期間、衛生対応に努め、クラスターによる蔓延を防ぐことができた。
- ③ デイサービス、ショート利用者の体調不良時には、ケアマネや相談員と連携を図り、主治医に受診した。

## 3. 働き方改革より魅力ある職場づくり

- ① 健康診断を行い、異常者には再検査や受診を勧め健康管理を行った。また、新型コロナウイルス対策として、全職員が毎日本調チェックシートを記入・清掃活動・サージカルマスク着用の徹底、又微熱や軽い風邪症状でも、介護施設職員であることを保健センターに報告、早期受診しPCR検査を受け、陰性確認後出勤するなどの予防対策に努め、体調不良による受診職員が減少した。
- ② 月1回の衛生委員会による巡視で指摘されたことを改善し、より良い職場環境づくりに努めた。また、新型コロナ陽性者が発生した時には、産業医との連携強化に努めた。